

問に答ふ

注 水彩画に關係あるものに限る○の印は答一般に對して利益なきものは載せず

【一】ホースター及びカツサンの鉛筆臨畫帖の定價、【二】大阪に開かる、講習會の内容、【三】大阪すみれ會の所在(大阪A.M生) ◎【一】丸善書店に問合されたしカツサンは全部貳拾圓なり【二】廣告欄を見よ【三】知らず【一】銀座の服部とは何處【二】丸山先生の水彩畫講義録一號以下は如何にせしや【三】會員は正賛共毎月必ず作畫を出す義務ありや(群馬黒坊)◎【一】銀座四丁目角の時計及測量機店【二】書肆の都合ならん如何になりしやを知らず【三】繪は出來た時にてよろし

すべし【一】雑誌LSは何號迄出しや【二】肉眼にて一本、見ゆる枯木林の描法【三】淡き空に厚みを見するには如何にすべき【四】硝子へ日光の輝きて五光を差せし時の描法【五】大下先生の繪ハガキに後志羊蹄山の圖あり近年渡島せられしや【六】小樽に『みづゑ』愛讀者何人ありや【七】『みづゑ』増刊は何月か(登)◎【一】二號迄と覺ゆ【二】スケッチなれば其幹や枝を一の色と見て大要を寫せ、スタテールなら見ゆる通り研究して見よ【三】薄き色を幾度もかけて試み給へ【四】コンナ處をわざ／＼寫すに及ばぬ、強て描きたいなら繪が乾いてから小刀の尖で搔いたらよい【五】渡島せず友人のスケッチによつて畫けり【六】直接讀者は三四人あり【七】十月頃出すつもりなれど確定せず【原色版と石版と何れが高價なりや(日光、汀舟)】◎現今にては原色版の方高價なり 【一】ゼルを用ひて寫生するに腕を充分伸すものにやかくすれば腕振へて困難なり未熟のためにはや(K.Y生)◎寫す時は接近してもよけれど畫板の面が六十度の視角以外にある位は顔は離れて畫かぬと全體の統一を欠く、手が動いて困るなら腕枕を用ゐるも可なり【一】オーレオリン及サイプラスチックの販賣所【二】ワットマン二つ切位ひの水貼をする糊が剝れる如何にしてよきや(陸前K.Y生)◎オーレオリンは銀座の服

部にあり乾製一個一圓二十錢 サイプラスは文房堂にあり今は品切かも知れぬ【二】水を表裏へ充分含ませ糊が硬ければ如何に大なるものでも剝がれるとなし、但大きな畫を粗末に畫くより小にして充分なるものを畫く方進歩のためにもよし【三色版と石版と何れが最も原畫に近きや(神戸M.Y生)】◎現今の處にては原色版の方勝れり、複雑なるものは到底石版にては出來ず、最も二三色刷のものは却て石版の方結果よし【小生目下中學の三年、將來美術學校に入らんとす、獨學にて如何なる事を修養してよろしきや(北海道S生)】◎試験準備としては木炭畫の研究必要なれど獨習困難ならん、平生暇ある時は鉛筆にて物の形を極めて忠實に正しく寫生すると、濃淡の調子を充分實物の如く見ゆるやうに寫生するとを稽古して置き、入學試験前數月間何處かの研究所にて木炭のデッサンをなせば安全なり、(木炭畫の素養なきものにて入學せし例もあれど)又水彩畫は單に娛樂としては兎に角、將來畫家たらん人には其前に墨繪の研究必要なれば、當分水彩畫は畫かぬ方却てよろしからん【地方講習生として大下先生の批評添削を受くるをか得るや(松山M生)】◎差支なし